

平成25年度

事業報告並びに決算書

社会福祉法人牧之原市社会福祉協議会

【1】概況

長引く景気低迷や急激な超高齢化社会への対応等、社協の取り組む事業は年々重要性が増している。特に、悪質商法・消費者被害などの相談などの情報が、担当部署から多く入ってきている。このような状況のもと、一つの部署だけが対応するのではなくチームとなって対応できるように、地域包括支援センター職員の勉強会に地域福祉課職員も同席し、司法書士から処遇困難ケースの対応方法など様々な相談に対応できるような取り組みを始めた。

また、今年度が第1次地域福祉活動計画の最終年となっており、各計画の見直し及び評価を行った。第2次地域福祉活動計画についても、「ふれあいを大切に生涯安心して暮らすことのできるまちづくり」の実現に向け、市社会福祉課と協働で策定した。また、策定にあたっては地域に出向き、膝を突き合わせた形の地域座談会を各小学校区(10ヶ所)で行い、市民ニーズを多くの方から拾い上げることができた。その座談会には地域福祉課職員だけでなく、介護現場などの職員が参加したことで社協職員全員が地域福祉の担い手という意識が高まったと思う。

平成23年3月に発生した東日本大震災後、今後起こり得る災害に備え職員研修を行い、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を毎年実施し、平時から常に準備している。

指定管理施設(相良デイサービスセンター・デイサービスセンターうたり・相良いきいきセンター)について、今年度は指定の最終年ということで更新申請を行った。中でも相良デイサービスセンターは指定管理施設から譲渡施設となり、社協が市から譲り受けたが、今年で14年目を迎えた施設であり維持管理費は今まで以上にかかることが想定されるため、経営に力をいれていくことが重要と思う。そのため、相良デイサービスセンターでは県が薦める「ふじのくに型福祉サービス」のモデル事業を実施し、障がい者、高齢者など垣根のない施設を目指し、障がい者のデイサービスを実施した。

在宅福祉事業として、安心安全なサービスと経費削減を基本にサービスの質の向上や利用者の安全確保に努めるとともに、毎月の所属長会議で利用者状況等を、事業所間・職員間で情報を共有し、そこから生じる課題の把握、改善の検討など一体感を持った事業運営を行ってきた。また、常に職員のスキルの向上を図り、利用者本位のサービスの実施に努める中で効率的な事業運営を行ってきた。

本会が市民から信頼され必要とされる団体として存続していくために、全職員が目的の達成に向けて地域との連携を強化していくようにしたい。

【2】主要事業

1. 安心して暮らせる未来のまちづくり

(1) 相談事業の充実

悩みごとや心配ごとを持つ方が気軽に相談できる窓口を設置し、総合相談及び援助活動を行った。

種類	開設日	場所	相談活動の内容
福祉総合相談	月～金曜日 (8:15～17:00)	相良総合センターい～ら	社会福祉協議会の職員が、様々な福祉の相談(ボランティア・介護・サロン活動など)にあたった。
	月～金曜日 (8:15～17:00)	老人福祉センター	
心配ごと相談	毎月第2水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	市民からの多数な相談に対応するため、民生委員児童委員と司法書士が相談にあたった。 ●主な内容 財産、離婚
	毎月第4水曜日 (9:00～11:30)		
法律相談	毎月第1水曜日 (9:00～11:30)	市民相談センター	市民や他市町から多様な相談に対応しています。弁護士、人権擁護委員、行政相談員が相談にあたった。 ●主な内容 財産、離婚、人権・法律
	毎月第3水曜日 (9:00～11:30)		

開設日数 及び延数	相談事項と件数																			
	生計	年金	職業・ 生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・ 衛生	医療	精神 衛生	人権・ 法律	財産	事故	児童 福祉・ 母子保 健	教育・ 青少年	障がい 児者福 祉	母子・ 父子福 祉	老人 福祉	苦情	その他
開設日数 心配 24日 法律 24日 延べ件数 心配 57件 法律154件 計 211件																				
心配ごと相談件数	3	2	1	6	6	0	9	0	0	0	5	19	1	0	0	1	0	1	1	2
法律相談件数	1	0	7	9	7	0	29	0	0	0	24	57	3	0	0	0	0	0	7	10
合計	4	2	8	15	13	0	38	0	0	0	29	76	4	0	0	1	0	1	8	12

種類	実施日	会場	相談活動の内容
結婚相談	7月19日(金) 18時30分～ 20時00分	café dining TANUMA	50歳までの独身男女を対象に、出会いの場の提供をし、限られた時間の中ですてきな出会いが出来るように自己紹介、フリートーク、浜辺での花火等企画し、その場面でアピールが出来るように提供をした。
	3月7日(金) 18時30分～ 21時00分	ペンションセ イラーズ	男性は市内消防団員の方。女性は市内外から応募のあった計18名の方に、お酒を飲みながら自己紹介やビンゴゲームなどで交流を深め、出会いの場を提供した。

★評価

例年女性の申し込みが少ないという現状を踏まえ、週末(金曜日)の夕方からの開催とし、予定どおり参加者を募り実施することができた。特に、2回目のパーティーでは、消極的な男性が多いということもあり、会話が続かないなどの問題点解決のため、男性陣が地元消防団員同士を、お互い顔を知る仲間だったため、会話が弾み2組のカップル成立に繋がった。また、初めてお酒を飲みながら行ったことも、会話が弾みカップル成立につながったとも考えています。

★課題

心配ごと相談、法律相談から社協として関わるべき課題を見極め、関係機関や地域の関係者と連携を取りながら対応していきたい。

パーティーについては、外部団体や企業と連携を取りながら企画・実施することにより、参加者の確保や啓発に繋がっていききたい。また、土曜日や日曜日の夕方に実施するなど、より多くの人が参加しやすい状況を探っていききたい。

(2) 情報提供の充実

① 社協広報紙「ふくしだより」の発行(12回)

福祉意識の啓発と社協の活動を市民に理解してもらうため、A4版4面の「ふくしだより」を毎月15日(土日祝日は前となる)に、自治会を通じて発行した。2月号では100号達成記念とA4版8面とページ数を多くし社協事業の紹介・情報を掲載した。

【年間発行部数】 月14,100部(2月号のみ14,600部)(年計169,700部)

② ホームページの充実

社協事業の報告やイベント情報をホームページに記載し、一般市民へ提供した。また、広報委員会を開催し、内容の検討を行いホームページへの記載内容の充実を図った。

【アドレス】<http://www.makinohara-shakyo.jp>

☆評価

9月からふくしだよりをカラーにした。多くの方から見やすいなど好評をいただいた。一方、文字数が多く、字が小さいとの指摘を受けたことで、記事の内容を見直し、文字の大きさを調整した。また、2月号が100号を迎え、社協事業所を紹介した。わかりやすいとの好評を市民の方からいただいた。

☆課題

情報の提供について、ボランティア活動やサロン活動の情報提供が少なかったと思う。また、ホームページについても情報を細かく更新することを心がけたい。

(3)人権対策の充実

①日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

判断能力が十分でない方が、できるだけ住み慣れた地域で自立して生活できるように、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を実施した。

【専門員の配置】6人(兼務)

【生活支援員の配置】10人

【相談及び契約件数】

区 分	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知高齢者	知的高齢者	精神障害者	その他		
相談件数	189	159	127	85	0	560
契約締結件数	2	2	0	1	0	5
実働件数	5	5	2	1	0	13

☆評価

相談内容が複雑化してきているため、各関係機関と情報を共有することで連携ができ、よりよい支援ができた。

☆課題

利用者が増加傾向にあり、抱える問題は個々様々で複雑になってきている。各関係機関、事業所と連携を図っていき、柔軟に対応が出来るようにスキルを高めていく。

(4)福祉サービスの充実

①福祉車両貸出事業

【相良事務所】

マイクロバス(29人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
回 数	15	17	15	8	7	9	
延べ人数	300	316	288	135	139	140	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回 数	18	22	13	9	10	10	153
延べ人数	323	457	239	188	225	183	2,933

キャラバン(福祉車両:リフト車・6人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	0	1	1	0	0	0	
延べ人数	0	1	2	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	0	0	0	0	0	2
延べ人数	0	0	0	0	0	0	3

ワゴンR(福祉車両:スロープ車・3人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	5	5	5	6	3	4	
延べ人数	6	7	6	6	4	7	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	4	4	4	3	3	52
延べ人数	10	5	5	7	5	4	72

デミオ(福祉車両:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	6	5	2	3	5	1	
延べ人数	11	14	2	5	5	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	1	0	7	6	9	47
延べ人数	3	1	0	17	17	20	96

〔榛原事務所〕

ハイエース(10人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	2	0	2	1	0	1	
延べ人数	16	0	6	4	0	9	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	0	4	1	1	2	0	14
延べ人数	0	33	8	8	9	0	93

ハイエース(福祉車両:10人乗り)※上記と同じ車両。福祉車両として使用した数字。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	3	3	1	4	1	1	
延べ人数	3	3	1	4	1	1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	1	1	0	5	1	2	23
延べ人数	1	1	0	5	1	3	24

ファンカーゴ(福祉車両:5人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	8	8	9	10	8	10	
延べ人数	49	58	69	68	64	72	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	10	8	12	13	10	10	116
延べ人数	63	61	69	51	56	44	724

AZワゴン(福祉車輛:スロープ車・3または4人乗り)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
実人数	3	4	3	7	8	9	
延べ人数	4	4	5	7	9	10	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	9	7	11	7	12	86
延べ人数	7	12	10	15	7	14	104

②心身障がい児(者)通園費補助事業

牧之原市内に居住し、心身障がい児(者)施設へ通う在宅心身障がい児(者)へ、1ヶ月1,000円の施設通園(所)費補助を行った。

【前期】 132人(711,000円)

【後期】 134人(714,000円)

③ひとりぐらし高齢者給食サービス

相良地区(17回)

70歳以上の虚弱なひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯52人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティア連絡会の調理部会が作った弁当を配食部会が民生委員児童委員宅へ配り、民生委員児童委員から高齢者宅へ配食した。8. 9月は食中毒心配のため休止しました。

【配布した弁当の延べ食数】 724食

榛原地区(17回)

70歳以上の虚弱なひとりぐらし高齢者及び高齢者世帯24人を対象に、200円の利用料で月2回ボランティアグループ“オムレツくらぶ”が作った弁当を配食ボランティアが高齢者宅へ配食した。8. 9月は食中毒心配のため休止しました。

【配布した弁当の延べ食数】 455食

④ひとりぐらし高齢者ふれあい食事会

相良地区(2回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、ボランティア連絡会の社協部会と調理部会の協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／6月28日】相良総合センターい～ら 31人

内容:あおぞら保育園児との交流・相良包括支援センターのお話・お礼のメッセージ作り

【第2回／11月14日】相良総合センターい～ら 29人

内容:スターズ☆月丘～演芸愛好家による踊りの鑑賞～・富士山折り紙を作ろう

榛原地区(2回)

70歳以上のひとりぐらし高齢者を対象に、ボランティアグループ“オムレツくらぶ”の協力により、会食方式の食事会を実施し、参加者同士やボランティアとの交流により楽しい時間を過ごした。

【第1回／6月26日】総合健康福祉センターさざんか 42人

内容:静波保育園児との交流・介護予防施設ぶどうの木のお話・お礼のメッセージ作り

【第2回／11月13日】総合健康福祉センターさざんか 45人

内容:スターズ☆月丘～演芸愛好家による踊りの鑑賞～・富士山折り紙を作ろう

★評価

参加者同士や地域の方々との交流を意識した提供内容にし、昨年度に比べて情報交換がたくさんできた。

★課題

給食サービス、ふれあい食事会を希望され参加される方は良いが、出てこられない、給食サービスの存在を知らないなどの方を、どう巻き込んでいくかが課題である。

(5)災害時援護活動の充実

①ネットワーク活動

東日本大震災や西伊豆町の集中豪雨による水害を踏まえ、災害時に社協職員が迅速に対応できるよう、社協職員による内部研修会で災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を実施し、現状の防災体制や今後に向けた改善点などの協議を行った。

【9月2日】相良総合センターい～ら 40人

【2月18日】相良総合センターい～ら 51人(災ボラ4名含む)

②災害支援活動

7月18日～19日に掛けて集中豪雨が西伊豆町を襲った。災害ボランティアセンターについては、近隣市町の社協職員が対応したが、支援をするボランティアが不足しているということで、牧之原市の近隣市町社協が協力し、泥だしの支援に職員を派遣した。

【7月25日】西伊豆町職員派遣 1人

★評価

職員研修にて、実際に西伊豆で活動した職員による報告を行った。なお、西伊豆町でのボランティアセンターの運営を立ち上げ訓練に改善点として取り入れて実施した。また、災害ボランティアコーディネーターとの立ち上げ訓練では、顔の見える関係作りと連携を行えた。

★課題

災害ボランティアセンターのマニュアルの見直しが必要。災害支援活動を経験している職員が少ないため、今後積極的な支援活動への参加が求められる。

(6)子育て支援の充実

①のびのび子育て井戸端会議の活動

子育て中の母親達の交流の場として、また、子どもに安心して楽しく遊べる場を提供するなど、子育てを支援するために、主任児童委員やボランティアの協力をいただき開催した。

【参加者】272組の親子(延べ585人/大人272人・子ども313人)、中高生ボランティア7人

②児童館まつりに参加

相良児童館、榛原児童館を会場に、子ども達のふれあいや地域との交流を目的に開催された児童館まつりに、社協は模擬店(ポップコーン販売)に参加し収集ボランティア情報の提供をした。

【8月3日】相良児童館まつり 職員3人参加

【8月3日】榛原児童館まつり 職員3人参加

★評価

参加者同士で交流し情報交換し子育てを楽しむ場所となっている。また、同じ子育て中の親子ボランティアや民生児童委員が気軽に声をかけることで育児ストレスの軽減が図られている。

★課題

第1子の親への事業周知及び、ボランティアの確保が必要となっている。また、児童館まつりについても、社協としてのPR看板などを出せたらと思う。

2. 共に助け合う地域づくり

(1) 地区社協の充実及び地域福祉活動の支援

① 地区代表者連絡会の開催

各地区相互の情報交換や地域福祉活動の活性化と促進を図ることを目的として、地区代表者による連絡会を開催した。

【7月1日】 相良総合センターい〜ら 75人

講演 「地域福祉活動計画策定に向けて」～地域の声を反映させるために～

講師 日本社会事業大学社会福祉学部福祉計画学科 専任講師 菱沼 幹男氏

② 三世代交流事業の開催

子どもから高齢者までが世代間の交流を図ることを目的として、ボランティアの協力によりゲームや体験等により交流をした。

【8月4日】 相良総合センターい〜ら 62人

(内容) ふれあいゲーム大会

【12月25日】 相良総合センターい〜ら 51人

(内容) しめ縄とお正月飾りを作ろう

③ 生き生き塾の開催

市内の概ね60歳以上の方を対象に、高齢者の生きがいや潤いのある生活づくりの手助けをすることを目的として、講演や実技などを実施した。今年度は前期を75歳以下の方とし、後期を76歳以上の方を対象として開催した。

【7月16日】 相良いきいきセンター 参加者14名
ハーブを楽しみましょう ～サシェ(匂い袋)作り～

【8月13日】 相良総合センターい〜ら 参加者9名
簡単イス体操 ～脳も身体も生き生き元気～

【9月17日】 相良いきいきセンター 参加者12名
エコクラフト ～まりづくり～

【10月24日】 牧之原市相良消防署 参加者14名
消防署見学 ～ミニ講話～

【11月20日】 秋のおでかけ 参加者12名
三保の松原・駿府匠塾

【12月18日】 相良いきいきセンター 参加者14名
絵手紙を楽しみましょう

④ 地区福祉映画上映会の実施

子育て中のお母さんなど若い世代を中心にふくしに関心を持つきっかけ作りや、世代を超えて住民が顔を合わせる場を提供して、地域の絆をより一層深める機会として開催した。

【3月11日】相良総合センターい〜ら 参加者136人

(内容)映画「はらぺこあおむし」、名波定治さんによるバルーンアート

★評価

三世代交流事業では、多くの親子での参加があった。継続を希望する方が多く、「ふれあい」が大切だと感じた。

★課題

実施する事業の目的を明確にしていく。地区社協の充実という面では、相良地区での展開をどうしていくかが大きな課題となっている。

(2) ボランティア活動等市民活動の推進

① ふれあい・いきいきサロン事業の充実(38サロン)

各区でのふれあい・いきいきサロン事業の充実及び支援を図った。それによって、地域住民と高齢者等との交流が活発になった。

区分	相良区	福岡区	地頭方区	波津区第2ブロック	新庄区
名称	生き生きクラブ	生き生きクラブ	はつらつクラブ	ほのぼの会	憩いクラブ
開設年月	平成9年6月	平成9年6月	平成10年6月4日	平成11年7月4日	平成11年9月8日
開催日	毎月1回 第1月曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第1・3木曜日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 概ね15日
開催時間	13:00～15:00	13:00～15:00	13:30～15:30	9:30～11:30	13:30～15:00
場所	相良区コミュニティ 防災センター	相良区コミュニティ 防災センター	地頭方区公民館	波津区公会堂、波津コ ミュニティーセンター	トーク地頭方
対象者	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	相良区・福岡区 及び近隣地区の 概ね70歳以上の 方	区内に移住する 概ね80歳以上の 方	75歳以上又は若 くて引きこもりの 方	区の高齢者
延参加者	309人	308人	340人	328人	411人
延協力員	175人	175人	162人	59人	73人
代表	植田 六郎	植田 六郎	櫻井壽恵男	小澤 幸吉	松下英津子

区分	波津区第1ブロック	大沢区	白井区	須々木区	片浜区
名称	にこにこ会	もんじゅの会	白井クラブ	お元気クラブ	ふれあいクラブ
開設年月	平成11年9月19日	平成11年10月8日	平成11年12月16日	平成12年4月7日	平成12年8月22日
開催日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3金曜日	毎月1回 第3木曜日	毎月1回	毎月1回 15日
開催時間	9:30～12:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～11:30
場所	静和会館	大沢公民館	白井公民館	須々木区区民間	片浜防災セン ター
対象者	概ね70歳以上の 方	概ね65歳以上の 方	60歳以上の方	区の70歳以上の 方	区の高齢者
延参加者	224人	172人	356人	234人	176人
延協力員	51人	75人	55人	145人	83人
代表	松下 全代	高橋 良夫	藤野 昌孝	矢部 友英	森田 昇

区分	波津区第3ブロック	西萩間区	大江区	菅山区	牧之原区
名称	ほほえみ会	子生まれクラブ	大海老会	油会クラブ	茶の実クラブ
開設年月	平成12年8月30日	平成12年9月15日	平成13年3月	平成13年3月	平成14年2月26日
開催日	毎月1回 30日	毎月1回 第3水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 20日	毎月1回 第3火曜日
開催時間	9:00～11:30	13:00～16:00	13:30～15:30	13:30～15:30	13:30～15:00
場所	波津区公会堂	西萩間公民館	大江区民会館	菅山区公民館	牧之原区民センター
対象者	第3ブロック内の高齢者(歩行可能のこと)	区の高齢者	区の高齢者	区の高齢者	65歳以上の方
延参加者	107人	218人	441人	277人	240人
延協力員	81人	51人	69人	145人	90人
代表	羽田 智行	齊藤 勝幸	今村 博至	川田 清一郎	松下 虎夫

区分	遠渡区	豊岡区	落居区	東萩間区(上)	東萩間区(下)
名称	サンサンクラブ	いきいきサロン豊岡	落ち合いサロン	笑和クラブ	いきいき東
開設年月	平成14年5月26日	平成14年5月29日	平成14年9月30日	平成14年10月11日	平成14年10月11日
開催日	毎月1回 第1日曜日	毎月1回 15日	毎月1回 第3土曜日	毎月1回 第2水曜日	毎月1回 第3火曜日
開催時間	13:00～15:00	13:30～15:30	13:30～15:00	9:00～12:00	9:00～11:30
場所	遠渡公民館	豊岡公民館	落居公民館	東萩間上公民館	東萩間下公民館
対象者	区の高齢者	区の高齢者	区の高齢者	上区の高齢者	下区の高齢者
延参加者	221人	262人	404人	169人	298人
延協力員	115人	47人	70人	40人	36人
代表	松下 律子	小川 弘廣	植田 利夫	澤村 章二	西村 みすづ

区分	中里区	神寄区(大寄)	神寄区(女神)	波津区第4ブロック	勝間田区
名称	にっこりサロン	大の字クラブ	すこやかクラブ	ハッピークラブ	ほがらかサロン
開設年月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年1月	平成15年7月1日	平成11年5月
開催日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第2金曜日	毎月1回 第1火曜日	毎月4回 毎週木曜日
開催時間	13:30～15:00	13:30～15:30	13:30～15:30	10:00～12:00	9:00～11:00
場所	萩間公民館	大寄公民館	女神公民館	大原公民館	勝間田会館
対象者	区の高齢者	区の高齢者	区の高齢者	60歳以上の方	65歳以上で健康な方
延参加者	226人	145人	201人	132人	2,251人
延協力員	51人	49人	38人	46人	276人
代表	稲見 敏	横山 泰之	八木 芳一	水野 隆	大関 小佳枝

区分	静波区	川崎区	坂部区	細江区	勝間田区
名称	すこやかサロン	仁田スマレ会	坂部ふれあいサロン	はつらつサロン東福	サロンマカミ
開設年月	平成13年5月	平成13年11月	平成14年4月	平成14年6月	平成14年9月
開催日	毎月2回 第1・3火曜日	毎月1～2回 第2日曜日	毎月3回 第1・2・3金曜日	毎月1回 第2火曜日	毎月1回 第1土曜日
開催時間	9:30～11:30	9:00～12:00	9:00～11:30	9:30～11:30	9:00～11:30
場所	老人福祉センター	仁田老人憩の家	坂部区民センター	東福田公会堂	間上憩の家
対象者	65歳以上の方	65歳以上の高齢者	65歳以上の元気な方	町内会高齢者	80歳以上の方
延参加者	280人	133人	1,273人	149人	121人
延協力員	91人	68人	382人	61人	15人
代表	大石 美春	永田 政子	吉添 悦子	大井 照恵	鈴木 常夫

区分	川崎区	細江区	静波区	細江区	静波区
名称	橋向さくら会	時ヶ谷サロン	サロンのぞみ	東慶林ふれあいサロン	ふれあいサロン3丁目
開設年月	平成15年10月	平成19年12月	平成20年2月	平成20年7月	平成20年4月
開催日	毎月1回 第4水曜日	毎月1回 第3月曜日	毎月2回 第2・4水曜日	毎月1回 第1木曜日	毎月1回 第4水曜日
開催時間	11:00～13:00	9:30～11:45	13:30～15:30	10:00～12:00	10:00～12:00
場所	橋向公民館	時ヶ谷公民館	静波コミュニティ防災センター	東慶林公民館	3丁目公会堂
対象者	65歳以上の一人暮らし世帯(障がい者)と70歳以上の高齢者	時ヶ谷町内70歳以上の居住者	65歳以上の方	地域の高齢者	町内会の65歳以上の方
延参加者	481人	292人	313人	253人	190人
延協力員	58人	48人	68人	53人	17人
代表	柴本 榮	原川 正志	大石 カヅミ	植田 秋枝	八木 末子

区分	細江区	川崎区	牧之原区
名称	堀の内草の実サロン	サロンひまわり	まきのはらいきいき教室
開設年月	平成21年2月	平成23年8月	平成8年6月
開催日	毎月1回 第3火曜日	毎月1回 第3水曜日	毎月4回 第1～4火曜日
開催時間	13:30～15:30	13:30～15:30	9:00～12:00
場所	堀之内研修センター	仁田公民館	牧之原区コミュニティセンター
対象者	高齢者	仁田在住の65歳以上の方	区内65歳以上の方
延参加者	192人	235人	1,072人
延協力員	41人	26人	96人
代表	飯田 正人	大杉 芳枝	後藤 育廣

サロン数 38 サロン
延参加者数 13,434 人
延協力員数 3,281 人

②サロン事業連絡会の開催

牧之原市内のサロン事業の推進を目的にサロン事業連絡会を開催し、各地域のサロン代表者間の交流を行い意見交換を行った。

【4月15日】 相良総合センターい〜ら 31人

③サロン作品展

2月10日～17日の期間、相良総合センターい〜らエントランスにてサロン作品展を実施した。11サロンが出展し、25年度の活動で取り組んだ作品の展示や活動紹介を行い、地域の方々へふれあい・いきいきサロン事業について啓発をした。

④サロン啓発パンフ作成

牧之原市内でサロンを始めたい方や内容を知りたい方へ、「あなたも、はじめませんか？ふれあい・いきいきサロン」というパンフレットを作成し、い〜ら窓口に置き啓発した。

⑤見守り支援ネットワーク事業の検討

牧之原市の支援が必要な人を支えるための取り組みを考える、見守り・支え合いネットワーク構築プロジェクト会議について、坂部区・行政・社協が昨年に引き続き検討を行っている。

⑥福祉施設交流会の充実(8施設)

つくしの家、つくしホーム、さがら作業所、こづつみ作業所、第2こづつみ作業所、地域活動支援センターはぐるま、ワークセンターやまばと、ケアセンターさざんかの通所者を中心に、牧之原市(榛原・相良)ボランティア連絡会の協力により交流会を実施した。

【9月13日】 相良総合センターい〜ら 参加者 219人

⑦ふれあい運動会の充実

毎年、地区を変え小学校を会場に年代、障がいの有無に関わりなく交流し、お互いに何かを感じ取ってもらおうと、ボランティア連絡会が主催し今年で9回目の運動会を実施した。

【6月15日】 地頭方小学校体育館 82人 3福祉施設、身体障害者福祉会

⑧ふれあい広場の開催

牧之原市の福祉と保健の拠点を活かし、子どもや高齢者、障がい者等住民の誰もが参加し、ふれあいを楽しむことを目的とした「ふれあい広場」を開催した。

【10月6日】 総合健康福祉センターさざんか

★評価

ふれあい広場について、毎年恒例の行事ということが市民へも定着してきている。50人へ無作為のアンケート調査を行ったが、7割以上の方が2回以上来たことがあるという結果であった。また、高校生ボランティアの当日及び前日準備の活動については、参加団体だけでなく、市民からもとても好評を得ている。

★課題

サロン活動への協力員が少ないことや、高齢化していること。各種体験も、継続できる活動などがほしい。また、ふれあい広場は障がい者の方とのふれあいをどうしていくのが課題。

3. 地域福祉を支える担い手づくり

(1) ボランティア拠点機能の充実と仕組みづくり

① ボランティアニーズ調査の実施

- ・各種事業の実施時にアンケート調査を実施した。
- ・相良、榛原ボランティア連絡会に現状の課題や必要な物品などのアンケート調査を行った。

② ボランティアコーディネート体制の充実

ボランティア活動者への情報提供や地域との連携を図るよう努めた。

☆評価

各講座の終了時に、アンケート調査を行うようにしたことにより、事業の見直しや今後の対策がとれるようになった。

☆課題

実際にボランティアを必要とする人のニーズを把握ついて、どれだけの人の声を拾うことができるかが課題。

(2) ボランティアの育成と人材の確保

① サロン協力員の育成・充実(4回)

サロン協力者、または今後ボランティアを行おうとする方を対象に、講習会を開催し新しい取り組みの補助や、情報提供、情報交換を行った。

- 【7月11日】 相良総合センターい〜ら 参加者14人
「私たちの地域とサロンって？」～サロンの魅力をお伝えします～
- 【8月27日】 相良総合センターい〜ら 参加者19人
エコクラフトその1 ～牛乳パックでつくる花びん～
- 【9月12日】 総合健康福祉センターさざんか 18人
エコクラフトその2 ～針金ハンガーでお掃除モップ～
- 【10月11日】 総合健康福祉センターさざんか 28人
心も身体もリフレッシュ！～みんなが笑顔になれる秘訣を伝授します～

② サロン協力員懇談会の実施

サロン協力者、または活動を支えてくださっている方を対象に、情報提供、交換を行った。

- 【2月17日】 相良総合センターい〜ら 45人
♪楽しい時間で心も身体も活性化♪

③ 多様なサロン事業の検討・実施

現在、介護予防を目的に高齢者サロンを中心に展開しているが、地域では高齢者だけが生活しているのではなく、障がい者や子供たちもいるため、垣根のない複合型のサロン活動代表者の方と交流を図った。

- 【12月9日】 視察先：掛川市社会福祉協議会 7人

④ サマーショートボランティアの充実

今年で32回目となったこの事業。県ボランティア協会と旧榛南4町が主催となって、市内の16福祉施設で、50人中・高校生等が連続4日以上ボランティア活動を行った。

- 【活動期間】 8月1日～8月30日

⑤親子ボランティア体験の実施

夏休みを利用して、親子でボランティア体験をすることを目的に親子ボランティア体験を開催した。

【8月6日】	ワークセンターやまばと	参加者5人
【8月10日】	特別養護老人ホームうたしあ	参加者6人
【8月19日】	第2こづつみ作業所	参加者2人
【8月22日】	ワークセンターやまばと	参加者4人

⑥学校でできるボランティアの実施

学校や自宅でできるボランティアを紹介しながら、ボランティア活動のきっかけづくりをしていく。

【11月6日】【11月13日】

70歳以上のひとり暮らし高齢者450名の方へ“富士山のおりがみ作りと一言メッセージの記入”

【11月20日】

福祉施設に通われている250名の利用者の方へ“クリスマスカード作成と一言メッセージの記入”

⑦ボランティア茶ロンの実施

ボランティア活動をしている方及びボランティア活動に興味がある方を対象に、情報の提供や地域の方々の交流の場として提供する。

【6月5日】	生き生きセンター	参加者20人
【12月4日】	生き生きセンター	参加者11人

★評価

ボランティア活動者には情報発信や活動者同士の交流ができ、また、参加者が地域にある施設の知るきっかけづくりにもなった。親子参加の事業では施設だけでなく、障害者理解やコミュニケーションの取り方なども学ぶことができた。

★課題

事業の周知及び地域に帰ってからのボランティア活動へのアプローチの検討が必要。

(3)災害ボランティアの育成

①災害ボランティアコーディネーターの育成・充実・連携

災害ボランティアコーディネーター養成講座修了者と災害ボランティアに関心がある市内在住者21名が会員となり、相良総合センターい〜らを会場に毎月第1水曜日に定例会、第4水曜日に役員会を開催した。定例会等では、災害時のマニュアルの検討や本部運営に関する協議などを行った。

【4月11日】牧之原市災害ボランティアセンター総会 20人

【5月8日】HUG訓練の実施 11人

【6月5日】避難所運営の勉強会、立上訓練の実施内容の検討 8人

【7月3日】災害ボランティアセンター立上訓練の実施 7人

【8月7日】避難所運営の勉強会、ふれあい広場の参加について 8人

【9月4日】神戸大学生との意見交換会 7人

【10月3日】避難所運営の勉強会、ふれあい広場・産業祭への参加について 6人

【11月5日】ふれあい広場の反省、産業祭での催事内容等について 4人

【12月4日】避難所運営の勉強会、防災アンケート結果、産業祭参加報告 8人

【1月8日】避難所運営の勉強会、防災課との意見交換会についての検討 6人

【2月5日】防災課との意見交換会 11人

【2月18日】社協主催のボランティアセンター立上訓練への参加 5人

【3月13日】避難所運営の勉強会、次年度事業計画、役員改選について 6人

②災害ボランティア交流

神戸大学から災害ボランティアサークル「震災救援隊」が牧之原市災害ボランティアコーディネーターとの交流を目的に牧之原市へ訪問に来た。初日は親睦を兼ねた交流会を行った。2日目はグループワーク形式で、災害について話し合いを行った。

【9月3日・4日】神戸大学生・静岡大学生・牧之原市災害VCo 他 20人

☆評価

災害ボランティアコーディネーターのボランティアセンター立ち上げ訓練に、社協職員(研修部員)が参加するなど交流することができた。なお、以前から親交のある神戸大学の学生の訪問を受け入れ、静岡県内の学生を交えての意見交換会や、市役所防災課と意見交換をすることができた。

☆課題

牧之原市災害ボランティアコーディネーターへの新規の参加者が無いため、災害ボランティアコーディネーター養成講座や、会の周知等が必要。定例会等も同じメンバーの出席(会員の5割ぐらいの出席率)となっているため、会の活性化が必要。行政関係課とも定例的に意見交換を行ってきたい。

(4)福祉教育の充実

①福祉体験学習への支援

市内小・中学校等からの依頼で、講話・車椅子・アイマスク体験等を実施し、福祉に対する理解が深まるようサポートした。

【5月17日・22日】相良小学校5年生 91人

【5月30日～7月11日(計6日間)】相良中学校3年生 157人

【7月4日】菅山小学校3・4年生 49人

【8月23日】放課後児童クラブ1～3年生 25人

【9月10日・10月22日】萩間小学校4年生 23人

【10月23日・11月6日】片浜小学校3・4年生 8人

【2月21日】牧之原小学校4年生 21人

②障がい者を理解するための講座の実施

夏休みを利用して、親子で障がいについて学ぶと同時に、福祉施設について知っていただくことを目的に、福祉施設と協働で親子福祉体験教室を開催した。

【7月11日】ワークセンターやまばと 参加者6人(3組の親子)

③みんなの描く福祉作品コンクール

福祉の啓蒙を図るため42人の応募を得て、みんなの描く福祉作品コンクールを開催した。

◇作文の部 応募者 8人

◇図画の部 応募者 34人

④エコキャップ運動の推進

ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することによって、環境や貧困など、世界が直面する様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動を行った。

【回収総重量】484.5kg(14団体・91個人)

【回収個数】208,335個

【ワクチン】242.25人分

⑤ふくし体験講座の実施

夏休みを利用して、高齢者や障がいをもった方の暮らしを体験することで、福祉への理解や自分たちにもできる活動を考えるきっかけ作りを目的としたふくし体験講座を開催した。

【7月31日】 老人福祉センター龍眼荘 参加者7人

☆評価

エコキャップについては、かなり市民に浸透している。学校等教育の場だけでなく、個人の方も集めて持ってきてくださったりしている。その他に講座になると参加者が少なくなってきたが、出てくれた人は、「良い体験をした」といってくれる。

☆課題

福祉教育について、全小中高校からの依頼があるようにしたい。また、活動が継続できるようなフォローを社協としても、考えていきたい。

4. ふくしのまちの基盤づくり

(1) 計画を実施するための財源の確保

①社協会費(単位:口)

普通会費(1口300円)	特別会費 (普通団体・個人1口1,000円) (特別団体 1口5,000円)	賛助会費(1口5,000円)
11,743口	1,000円 184口 5,000円 4口	175口
3,522,930円	204,000円	875,000円

合計 4,601,930円

②介護保険事業の経営

介護保険事業として、①訪問介護事業(ホームヘルプサービス) ②居宅介護支援事業 ③通所介護事業(デイサービス)の3事業を経営している。今後も地域福祉事業への繰入や、社協運営費補助金の減額が予想されるため、経営体制の見直し等を含め経費節減に一層努めた。

☆評価

行政連絡会をはじめ各町内会長会議に参加し、区長や町内会長をとおして、社協の事業に関する理解を深めてもらうとともに、地域福祉を推進するための自主財源の確保を図った。

☆課題

年々減少傾向にあるため、納入率の低い地区には、検討をお願いする。また、賛助会費についても依頼業者を見直し、賛助会員の増加に努める。

(2) 社会福祉協議会の組織体制の充実・強化

①理事会・評議員会・監査会の開催

会議名	開催日	場 所	出席者	主 な 議 事
第1回監査	25.5.16	相良総合センター い〜ら	2/2	平成24年度決算監査 ①事業報告 ②会計経理・資産管理 ③法人組織・運営
第1回理事会	25.5.28	相良総合センター い〜ら	9/10	①評議員の同意 ②定款変更 ③平成24年度事業報告の認定 ④平成24年度一般会計収支決算 認定
第1回評議員会	25.5.28	相良総合センター い〜ら	17/21	①理事の選任 ②定款変更 ③平成24年度事業報告の認定 ④平成24年度一般会計収支決算 認定
第2回理事会	25.9.30	相良総合センター い〜ら	10/10	⑤評議員の選任 ⑥給与規程の一部改正 ⑦パートタイマー等の給与規程の 一部改正 ⑧財産(相良デイサービスセン ター)の取得 ⑨ふじのくに型福祉サービス(介護 保険施設における障害福祉サービ ス)の実施 (報告1)指定管理施設の更新申請
第2回評議員会	25.9.30	相良総合センター い〜ら	18/21	⑤役員(理事・監事)の選任 ⑥給与規程の一部改正 ⑦パートタイマー等の給与規程の 一部改正 ⑧財産(相良デイサービスセン ター)の取得 ⑨ふじのくに型福祉サービス(介護 保険施設における障害福祉サービ ス)の実施 (報告1)指定管理施設の更新申請
第3回理事会	25.10.19	相良総合センター い〜ら	10/10	⑩会長及び副会長の選任 ⑪会長の職務代理者 (報告2)第三者委員
第2回監査	25.11.27	相良総合センター い〜ら	2/2	平成25年度前期分監査 ①事業報告 ②会計経理・資産管理 ③法人組織・運営
第4回理事会	25.12.18	相良総合センター い〜ら	10/10	⑫評議員の選任 ⑬平成25年度一般会計補正予算 (案)(第1回) ⑭財産(備品)の取得 (報告3)平成25年度事業報告(前 期)

第3回評議員会	25.12.18	相良総合センター い～ら	17/21	⑩役員の選任 ⑪平成25年度一般会計補正予算(案)(第1回) ⑫財産(備品)の取得(報告2)平成25年度事業報告(前期)
第5回理事会	26.1.25	相良総合センター い～ら	9/10	報告事項等
第6回理事会	26.3.25	相良総合センター い～ら	10/10	⑮事務局規程の全部改正 ⑯決裁規程の一部改正 ⑰就業規程の一部改正 ⑱理事会申し合わせ事項の廃止 ⑲給与規程の一部改正 ⑳パートタイマー等の給与規程の一部改正 ㉑正職員登用規程の制定 ㉒建物譲渡契約 ㉓平成25年度一般会計補正予算(案)(第2回) ㉔地域福祉活動計画(第2次)の策定 ㉕平成26年度事業計画(案) ㉖平成26年度一般会計予算(案) ㉗平成26年度局長人事
第4回評議員会	26.3.25	相良総合センター い～ら	17/21	⑬事務局規程の全部改正 ⑭決裁規程の一部改正 ⑮就業規程の一部改正 ⑯給与規程の一部改正 ⑰パートタイマー等の給与規程の一部改正 ⑱正職員登用規程の制定 ⑲建物譲渡契約 ⑳平成25年度一般会計補正予算(案)(第2回) ㉑地域福祉活動計画(第2次)の策定 ㉒平成26年度事業計画(案) ㉓平成26年度一般会計予算(案)

★評価

毎回多くの方が参加してくれ、必ず会が成立している。

★課題

評議員会について、開催時間が昼、夜、土日など、仕事等の都合で、全員が参加しやすい時間が合わない。

(3)人材の育成と確保

①雇用促進への取り組み

障がい者の方が就労しやすい環境づくりに勤め、役割をつくることで就労しやすくした。また、藤枝特別支援学校の就労研修や、障害者合同就職面接会(ふれあいJOBフェア)へ参加し雇用への呼びかけ活動を行った。

【9月6日】藤枝特別支援学校企業部会 藤枝市

【9月13日】障害者合同就職面接会(ふれあいJOBフェア) 焼津市

★評価

初めて障がい者への取り組みを行った。地域福祉を支える社協として、障がい者の雇用に繋がって良かった。

★課題

専門職が多い社協職なので、資格が必要な部署では雇うことが難しい。

(4)ネットワークの形成と充実

①障がい児(者)福祉団体への支援

牧之原市の青年学級やひまわり会(障がい児を持つ親の会)の活動推進、発展を図るため、補助を行った。

②ボランティア活動への支援

ボランティア活動を活発化させるため、社協にボランティアコーディネーターを配置し、ボランティア連絡会を中心とした活動の活発化を図った。

③ボランティア連絡会

相良地区、榛原地区にそれぞれボランティア連絡会が存在し、相良地区については、個人登録方式を生かし、市民ニーズに応えた部会をつくり現在7部会が活動している。また、榛原地区は、グループ登録を中心に、連絡会を各グループの代表が集まり会を運営している。

【相良地区】登録実人員 34人 延べ登録人数 45人

No.	部会名	人数	主な活動場所	活動内容
1	作業部会	13	こづつみ作業所	陶器の転写紙貼り、下請け部品組立作業手伝い・各行時への協力
			第2こづつみ作業所	下請け部品組立作業手伝い・各行事への協力
2	介助部会	4	つくしの家・つくしホーム	パターンングの手伝い・各行時への協力、圏外療育(主に散歩)の手伝い・各行時への協力
3	ガイドヘルパー部会	0	市内外	視覚障がい者のガイドヘルプ(会合・研修旅行等催しの際の介助)
4	幼児部会	5	い～ら他	のびのび子育て井戸端会議への協力
5	在宅部会	6	自宅	ひとり暮らし高齢者給食サービスに添える折り紙制作
6	調理部会	9	保健センター・い～ら	毎月2回のひとり暮らし高齢者給食サービス・年2回のふれあい食事会の調理
7	配食部会	5	市内	ひとり暮らし高齢者給食サービスを民生委員宅への配食
8	社協部会	3	い～ら・市内	ふれあい食事会への協力・相良デイサービスセンターへの協力

【榛原地区】登録グループ 13グループ 会員数 206人

No.	グループ名	人数	主な活動場所	活動内容
1	オムレツくらぶ	23	さざんか	給食サービス事業の調理ボランティア
2	おはなしクラブ	20	市内	市内小学校での読み聞かせ、朗読劇等の企画上映おはなし会等の開催、児童クラブ催し物等への協力

3	音訳サークルやまびこ	6	さざんか	目の不自由な方へ、市の広報誌をテープへ吹き込む
4	手話サークルフレンド	14	さざんか	手話を覚える、ろうあ者との交流
5	夢づくり	5	市内	布のおもちゃづくり
6	かえでグループ	10	市内	高齢者健康サポート(サロン活動、高齢者の話相手)
7	静波海岸ボランティアの会	31	静波海岸	海岸周辺(保安林等)の環境美化活動
8	運転サービスグループ「どこでもカー」	15	市内	障害者の外出支援
9	生きがいリーダー連絡協議会	43	市内	介護予防を展開する中で、地域のよりよい健康、生きがい、地域づくりの推進を図る
10	牧之原市まちづくり実行隊	12	市内	おやじの会による親子ふれあい活動、勝間田川流域の環境保全活動、障害者福祉活動サポートの実施
11	茶っこクラブ	13	市内	健康づくり活動、花の会活動、手芸活動
12	チャンスの会	10	市内	出会いの場を応援する
13	NPO法人海とまちと里山くらぶinしずおか	4	市内	ゴミゼロ活動・生ゴミの回収と再利用

☆評価

連絡会が主になり、ふれあい運動会やボランティア養成講座の開催が継続できている。参加された方には、連絡会の周知ができた、ボランティア同士の交流もできることから継続して支援が必要。

☆課題

ボランティア活動者及びボランティアグループの確保。新規ボランティアの確保。また、ボランティア連絡会の在り方や存在意義を検討していきたい。

(5)福祉資金貸付事業

①県生活福祉資金貸付事業

種類	貸付限度額	区分	現年度貸付額	過年度貸付額	償還額	繰越滞納額
福祉資金	580万円以内	金額	0	1,065,000	557,760	507,240
		件数	0	6	5	6
緊急小口資金	10万円以内	金額	47,000	1,150,000	453,330	743,670
		件数	1	16	6	14
教育支援資金	50万円以内	金額	0	22,887,800	9,174,150	13,713,650
		件数	0	19	11	16
不動産担保型生活資金	月30万円以内	金額	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0
総合支援資金	60万円以内	金額	0	11,841,273	2,414,590	9,426,683
		件数	0	24	15	9
臨時特例つなぎ資金	10万円以内	金額	0	170,000	25,000	145,000
		件数	0	2	1	2

合 計	金額	47,000	37,114,073	12,624,830	24,536,243
	件数	1	67	38	30

※利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

②市福祉資金貸付事業

種 類	貸付限度額	区 分	当年度分				過年度分				欠損額	残高
			貸付額	償還額	未償還額	滞納額	未納残額	償還額	未償還額	滞納額		
一般 資金	10万円 以内	金額	570,810	570,810	0	0	633,250	50,000	0	583,250	0	583,250
		件数	10	10	0	0	10	4	0	9	0	9
高額療 養資金	100万円 以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護保 険資金	20万円 以内	金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		金額	570,810	570,810	0	0	633,250	50,000	0	583,250	0	583,250
		件数	10	10	0	0	10	4	0	9	0	9

※利率は資金の種類によって無利子から年3%、償還期間は2ヶ月から20年以内とする。

★評価

昨年度と比較すると県の貸付件数は減となっているが、相談数はあまり変わっていない。

★課題

長期間滞納者への償還指導を根気よく継続していく必要がある。

(6)第2次地域福祉活動計画の策定

①地域座談会の開催

第2次地域福祉活動計画策定に向け、地域の声を計画に反映させることを目的とし、各小学校区(10ヶ所)にて地域座談会を実施した。

No.	地 区 名	開 催 日	会 場	参加者
1	勝間田地区	8月28日(水)	勝間田会館	31人
2	地頭方地区	9月10日(火)	トーク地頭方	29人
3	牧之原地区	9月13日(金)	牧之原コミュニティセンター	31人
4	萩間地区	9月17日(火)	萩間公民館	26人
5	片浜地区	9月21日(土)	片浜コミュニティ防災センター	25人
6	川崎地区	9月24日(火)	静波コミュニティ防災センター	29人
7	相良地区	10月11日(金)	相良公民館	22人
8	細江地区	10月16日(水)	細江コミュニティセンター	23人
9	菅山地区	10月23日(水)	菅山公民館	28人
10	坂部地区	10月24日(木)	坂部区民センター	33人

②作業部会の開催

地区社協や区の役員、民生委員、ボランティア、福祉施設職員、ひとり暮らし高齢者、障がい者等の方々に構成され、地区座談会や専門職アンケート等からの意見に対しての対応策等を検討した。

No.	開催日	会議	内容
1	10月23日(水)	第1回作業部会	委嘱状の交付、趣旨説明、座談会・アンケート結果の報告
2	11月6日(水)	第2回作業部会	検討事項:「地区の運営について困っていること」
3	11月7日(木)	第2回作業部会	検討事項:「災害が発生した場合に困っていること」
4	11月11日(月)	第2回作業部会	検討事項:「地域の人材で困っていること」
5	12月16日(月)	第3回作業部会	検討結果の報告等

☆評価

市内10の小中学校区にて地域座談会を実施し、地域の意見や課題の聞き取りを行った。平成26年度からの第2次地域福祉活動計画策定に向けて、第1次計画の課題点をテーマにグループワークを実施した。

☆課題

参加者が地区役員の方になりがちなので、出来るだけ幅広く意見をいただくためにも、様々な方の参加を促したい。また、行政的な意見が多かったので、福祉的な情報を引き出すことができるように、職員のレベルの向上が必要だと感じた。

5. 共同募金事業の実施

赤い羽根共同募金は、民間の運動として戦後直後の1947年(昭和22年)に、市民が主体の取り組みとしてスタートした活動です。みんなで集めた募金は、じぶんの町を良くする活動に使われています。市民自らの行動を応援する募金活動です。

一般募金(募金期間:10月1日～12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	3,708,552 円	11,731世帯
法人募金	1,615,500 円	484法人
街頭募金	44,940 円	ふれあい広場
学校募金	98,027 円	10小学校、3中学校、2高校
職域募金	46,675 円	市役所・静岡銀行・社協
その他の募金	16,754 円	掉月庵・榛南製作所・市役所窓口・区コミュニティセンター
合計	5,530,448 円	

歳末たすけあい募金(募金期間:12月1日～12月31日)

種別	金額	備考
戸別募金	983,898 円	11,731世帯
合計	983,898 円	

☆評価

学校での協力や、各法人、職域など様々な方が事業にご理解をいただき、これだけ多くの募金にご協力いただいた。また、民生委員児童委員の皆様が市内事業所へ募金活動して下さったことも大きな力だった。

☆課題

年々募金額が減少している。学校や事業所数、職域、民生委員児童委員の皆様のご理解ご協力をいただいても、長引く景気の低迷などが影響あり、新たな事業所や職域などの開発が課題となっ

619.